

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任
水野 喜代治

気持ちを添える！

直接、見ることは出来ませんが「気持ち」というものがあります。「気持ち」とは人の心の中にある想いです。「気持ち」は、決して見えませんが感じるすることができます。「気持ち」は感じるものです。ですから、感じ取る心がない人に「気持ち」は伝わりません。

私は1年生と2年生の社会科を担当しています。2年3組の授業の始まるの前に出席簿をつけようとしてボールペンを忘れたので、「ボールペンを貸してもらえますか？」と女子生徒に頼むと、「はい、どうぞ！」と丁寧にボールペンを貸してくれました。ボールペンで直ぐに書けるようにノックして渡してくれました。このさりげないこの行為に女子生徒の優しい「気持ち」を感じました。ちょっとしたことですが、なかなか出来ないことだと思います。後日の朝、職員室に「失礼します。2年3組の〇〇です。日直日誌を取りに来ました。」と落ち着いた雰囲気です。挨拶をして女子生徒が入ってきました。先日、私にボールペンをノックして渡してくれた生徒でした。日直日誌を棚から取ると職員室の先生方に「ありがとうございました。失礼します。」とお辞儀をしてくるりと向きを変えて退出していきました。職員室を出るところでもう一度、黙礼をして出ていきました。黙礼を見て、この生徒の「気持ち」を感じました。先生方に「ありがとうございます。失礼します」と挨拶したのですから、そのまま退出しても礼儀は欠かしたことはありません。しかし、最後に職員室から出るところで、お騒がせしましたという気持ちを込めて特定の人に対してでなく、一つのけじめとして黙礼をしたのだと思います。この生徒の色々なところに「気持ち」を添えられるところが素晴らしいと思いました。この生徒を育てたお家の方に一回お会いしてみたいなと思いました。